備前市事務事業評価シート

（平成21年度事業）

事業の概要					
事業開始年度		平成１７年度		根拠法令・例規等	循環型社会形成推進地域計画に基づく
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり	問合先 担当課（室）	環境課
	中項目	基本施策	01 生活しやすいまちづくり	職・氏名	衛生係長・古松健二
	小項目	施策	14 ごみ処理	電話	64-1821
事務事業名			06 リサイクル施設整備事業	このシート作成に要した時間	1.0 時間

事業の目的	
対象（誰・何に対して）	旧焼却場を解体し、その場所にリサイクル施設の整備を進める。
目的（何のために）	資源循環型社会を構築する。
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	安全な取り壊しと資源循環型社会を形成するための施設整備をする。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業の実績

目的を達成するため実施した事業

細事業名	事業の説明	優先度
リサイクル施設整備事業	旧焼却場を解体し、その場所にリサイクル施設の整備し、資源循環型社会の一助とする。	◎

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額 事業費	直接事業費	千円	77,389	16,262	21,145
	必要人員 人件費	千円	0.50人 4,897	0.11人 1,005	0.05人 436
	事業費計	千円	82,286	17,267	21,581
財源	国県支出金	千円	25855	4296	6516
	受益者負担	千円			
	繰入金	千円			
	市債	千円	46200	8900	12200
	その他（　）	千円			
	一般財源	千円	10,231	4,071	2,865
受益者負担比率		%			

結果指標名	単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	説明	施設整備数		
結果指標量	事業	1	1	1
対前年比	%	－	100.0%	100.0%
活動コスト	円	82,286,000	17,267,000	21,581,000
単位当たりコスト	円	82,286,000	17,267,000	21,581,000

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業の成果

成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
	目標値（A）				
	実績値（B）				到達目標値
	達成率（B/A）	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

成果指標設定の考え方・式や説明

循環型社会形成推進交付金を受けての施設整備事業なので、成果指標を揚げるのは難しい。

事務事業の評価

妥当性の評価

- 市の関与の妥当性
  - ☑ 市が実施するよう法令で義務づけられている
  - ☐ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
  - ☐ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
  - ☐ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
  - ☐ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
- 必要性
  - ☑ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
  - ☐ 事業開始当初の目的から変化してきている
  - ☐ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている
- 市民ニーズ
  - ☐ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある
  - ☐ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価 <A～E>: **A**

効率性の評価

- コスト
  - ☐ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
  - ☐ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
  - ☐ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
  - ☑ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
- 手段
  - ☐ 受益者負担率は適正である
  - ☐ 受益者負担率を見直す余地がある
  - ☐ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
  - ☐ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
  - ☐ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価 <A～E>: **C**

有効性の評価

- 目的達成度
  - ☐ 成果指標の設定は適切である
  - ☐ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
  - ☐ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
  - ☐ 成果指標達成率は80%未満となっている
  - ☐ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない
- 市民参画度
  - ☑ 法定事務 ・ 内部管理事務 であり成果は求めにくい
  - ☐ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
  - ☐ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価 <A～E>: **B**

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい

進行年度（H22年度）の改革改善内容

状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
							○

説明：平成２１年度において、事業の完了。

総合評価

備前第一清掃工場及び日生清掃工場焼却炉は休止後、数年が経過し、閉鎖していたが、循環型社会形成推進交付金を利用することにより解体・撤去を行った。また、跡地には古紙・ペットボトルのストックヤードを整備し、資源回収の拠点として活用を行っている。平成２１年度において、日生清掃工場焼却炉跡地にリサイクル施設の整備を行った。

評価区分 <A～E>: **B**

平成23年度の方向性 及び 取組目標

方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
							○

取組目標：